

## ＜速報＞訪日外国人は順調な拡大続く



### 7月の訪日外国人客数は191.8万人と過去最高を更新

本日（8月19日）14時に7月の訪日外国人客数が発表されました。191.8万人と単月として過去最高を更新し、前年同月比51%の大幅増となりました。6月末から始まった中国株の大幅下落によって、中国人訪日客への悪影響が大きいのではないかと懸念がありました。結果的に7月の中国人訪日客数は57.7万人とすべての国・地域を通じて初めて単月で50万人を突破しました。グラフに示したように、中国人観光客の前年同月比の増加率は105.1%と前月の167.2%に比べるとやや鈍化しました。現時点では株安の影響がどの程度出ているのかは判断できませんが、引き続き中国人観光客の訪日意欲は旺盛に推移したようです。

訪日外国人客数(総数・中国人客数)の推移



(出所) 日本政府観光局(JNTO)の発表を元にマネックス証券作成

前年同月比増加率の推移



(出所) 日本政府観光局(JNTO)の発表を元にマネックス証券作成

### 人民元切り下げで今後は伸びが鈍化？

ただ、8月以降の中国人の訪日にはもう1つ不安要素があります。それは、8月11日から3日連続で人民銀行が対ドル基準レートの切り下げを行って元安が進んだことです。8月以降は中国株安の影響に加えて、元安の影響がどの程度出てくるかがポイントとなります。巻末の表に示したようにいわゆるインバウンド関連株は外国人観光客の増加による業績加速への期待が高く、株価の上昇が目立っていました。

筆者はグラフに示したように人民元の対円レートがいまだに高値圏にあることから、急激な来日鈍化にはつながらないと見ていますが、いずれにせよ9月16日に発表される8月分の訪日客数に

はいつも以上に注目が集まりそうです。

人民元/円の推移



(出所) マネックス証券作成

(ご参考) インバウンド関連銘柄の株価バリュエーション (8月18日時点)

<航空事業関連>

銘柄名	8月18日 終値	予想PER	実績PBR	2014年末比 騰落率
9201 JAL	4,665	11.7	2.2	29.6%
9202 ANAHD	387.4	26.0	1.7	29.4%
9206 SFJ	2,065	7.2	2.5	-2.8%
2729 JALUX	2,582	23.3	2.0	53.4%
8864 空港施設	644	19.3	0.7	-11.2%
9706 日本空港ビル	6,420	68.6	4.7	34.2%

<鉄道関連>

銘柄名	8月18日 終値	予想PER	実績PBR	2014年末比 騰落率
9001 東武	591	26.0	1.6	14.1%
9003 相鉄HD	756	31.7	3.5	51.8%
9005 東急	942	26.4	2.1	25.8%
9006 京急	1,030	51.6	2.2	15.1%
9009 京成	1,498	18.7	1.9	1.7%
9010 富士急	1,239	59.8	6.0	6.4%
9020 JR東日本	12,360	20.3	2.1	35.5%
9021 JR西日本	8,962	19.2	2.1	56.9%
9022 JR東海	22,325	14.5	2.1	23.1%
9024 西武HD	2,758	28.8	2.5	11.8%
9031 西鉄	677	24.1	1.9	37.3%
9041 近鉄GHD	460	38.0	2.9	15.9%
9042 阪急阪神	801	19.4	1.5	23.4%
9044 南海電	684	31.3	2.0	47.4%
9045 京阪電	849	32.2	2.4	31.2%
9048 名鉄	508	24.2	1.7	13.1%

## ＜宿泊関連＞

銘柄名	8月18日 終値	予想PER	実績PBR	2014年末比 騰落率
3258 ユニゾHD	5,900	23.4	2.1	64.6%
5261 リソル	301	30.4	1.7	28.1%
6076 アメイズ	815	18.7	2.1	11.8%
6097 日本ビューホ	2,613	61.0	1.8	89.3%
9115 明治海	621	8.9	1.4	70.1%
9616 共立メンテ	7,990	33.5	2.9	64.7%
9695 鴨川グランド	375	167.7	4.1	19.0%
9704 アゴーラHG	46	-	1.7	-2.1%
9708 帝ホテル	2,711	59.6	3.3	13.1%
9713 ロイヤルホ	356	62.9	3.0	81.6%
9720 グランド	3,570	55.3	0.5	19.0%
9722 藤田観	413	-	1.7	11.6%
9723 京都ホ	955	173.0	6.4	59.2%
3287 星野Rリート	1,296,000	35.7	2.3	2.5%
8985 ホテルリート	79,900	33.3	2.5	3.8%

## ＜家電量販店関連＞

銘柄名	8月18日 終値	予想PER	実績PBR	2014年末比 騰落率
2730 エディオン	931	12.3	0.6	9.8%
3048 ビックカメラ	1,324	22.8	2.5	-4.7%
7513 コジマ	386	68.3	0.7	30.4%
8173 上新電	977	13.4	0.7	-0.5%
8175 ベスト電	145	13.0	0.6	6.6%
8202 ラオックス	502	39.9	7.5	94.6%
9831 ヤマダ電	491	15.5	0.8	20.9%

## ＜百貨店・小売関連＞

銘柄名	8月18日 終値	予想PER	実績PBR	2014年末 騰落率
3086 Jフロント	2,179.0	20.3	1.5	54.9%
3099 三越伊勢丹	2,082.0	32.8	1.4	38.2%
7532 ドンキHD	5,200.0	35.2	3.9	24.6%
8233 高島屋	1,156.0	17.3	1.0	19.5%
8237 松屋	2,342.0	73.0	6.7	45.6%
8242 H2Oリテイ	2,601.0	24.7	1.3	35.3%
8244 近鉄百	343.0	197.9	4.8	10.3%
8251 パルコ	1,238.0	18.2	1.1	25.8%
8252 丸井G	1,602.0	23.1	1.4	46.4%

<ドラッグストア関連>

銘柄名	8月18日 終値	予想PER	実績PBR	2014年末比 騰落率
3088 マツキヨHD	6,500	26.8	2.2	87.9%
3349 コスモス薬品	16,180	27.4	4.9	-1.6%
3391 ツルハHD	10,900	29.1	3.9	55.9%
7649 スギHD	6,330	29.0	3.1	28.5%
9989 サンドラッグ	7,760	24.1	3.9	57.2%

(出所) 8月18日時点の QUICK データを元にマネックス証券作成

利益相反に関する開示事項

マネックス証券株式会社は、契約に基づき、オリジナルレポートの提供を継続的に行うことに対する対価を契約先証券会社より包括的に得ておりますが、本レポートに対して個別に対価を得ているものではありません。レポート対象企業の選定はマネックス証券が独自の判断に基づき行っているものであり、契約先証券会社を含む第三者からの指定は一切受けておりません。レポート執筆者、並びにマネックス証券と本レポートの対象会社との間には、利益相反の関係はありません。

- ・当社は、本レポートの内容につき、その正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。
- ・記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・過去の実績や予想・意見は、将来の結果を保証するものではありません。
- ・提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。
- ・当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号  
 加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会